

エラーコード353「主体者DN,主体者DNのLが登録された値と一致しません。」

問題

サーバ証明書の新規発行、更新発行時に エラーコード353 「主体者DN,主体者DNのLが登録された値と一致しません。」が表示される。

原因

作成して頂いたTSVファイルのL=と証明書発行支援システムに登録されているL=の値が異なっていることでエラーが発生しました。

解決方法

L=の値は**証明書発行支援システムに登録されているL=の値である必要があります。**

作成して頂いたTSVファイルのL=の値を証明書発行支援システムに登録されているL=の値に変更して下さい。
再度CSRの作成からお願いいたします。

- ・ [証明書発行支援システムに登録されているST,Lの値一覧](#)
- ・ [サーバ証明書取得用CSRの作成方法](#)

（証明書発行例）

発行したい証明書

CN=certs.nii.ac.jp,O=NII,L=**Chiyoda-ku**,ST=Tokyo,C=JP

既存の証明書

CN=certs.nii.ac.jp,O=NII,L=**Chiyoda**,ST=Tokyo,C=JP

証明書発行支援システムに登録されているL, ST

L=**Chiyoda-ku**, ST=Tokyo

× 発行不可

CN=certs.nii.ac.jp,O=NII,L=**Chiyoda**,ST=Tokyo,C=JP

○ 発行可能

CN=certs.nii.ac.jp,O=NII,L=**Chiyoda-ku**,ST=Tokyo,C=JP